

御経塚といえば縄文遺跡のある町に!!

現状の把握

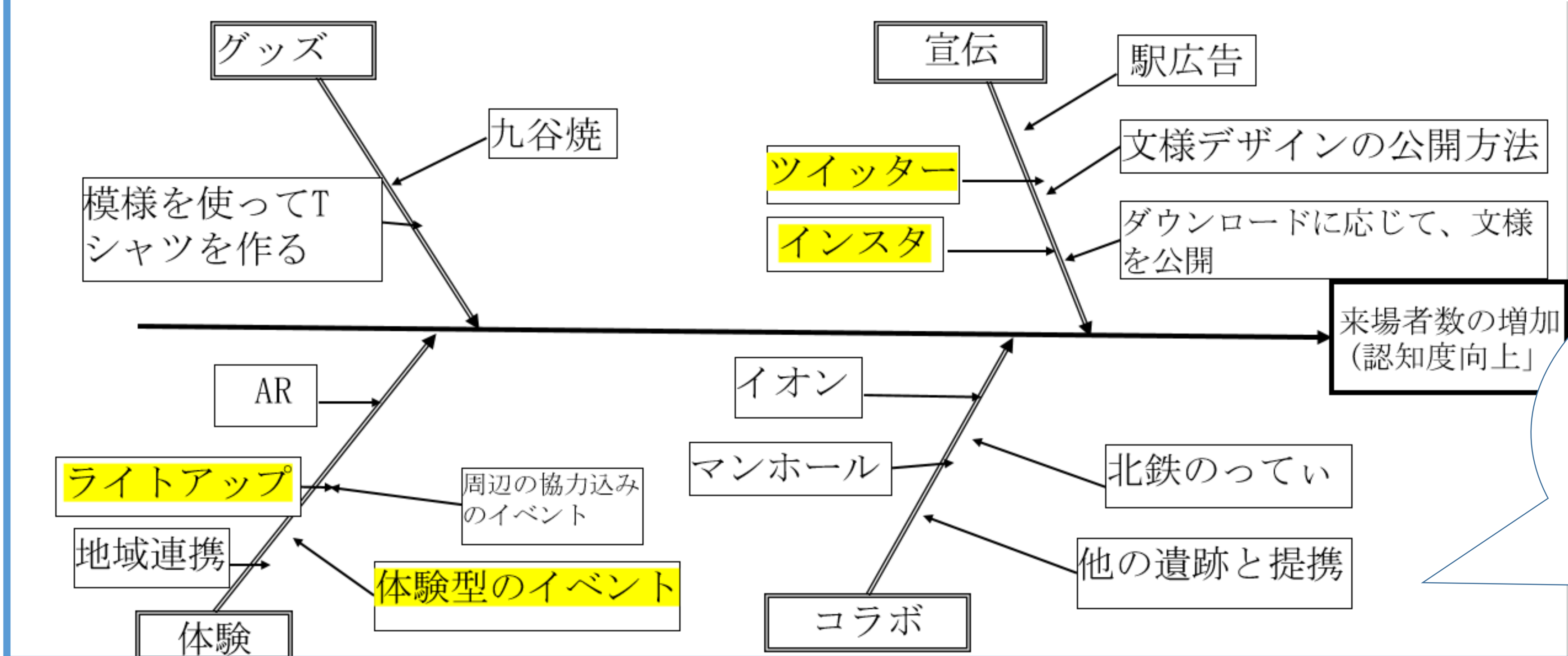
- ・ 年間来場者4000人
- ・ 文様デザインの活用例が少ない
- ・ 施設の認知度が低い
- ・ 活動の宣伝が少ない

現在行っている活動

- 土器づくり
- 勾玉づくり
- 網カゴ作り
- 土鈴づくり



アイデアの創出



御経塚遺跡文様デザインの活用については、認知度向上が大きな課題。そのため、認知度向上に対するPR方法についてブレーストーミングを実施

	ライトアップ	体験型イベント	SNS
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先駆的である ・ 人の目を引く ・ より神秘的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用が高くない ・ 維持する人が少ない ・ 外部イベントにも対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代をターゲット ・ 宣伝効果がある ・ 遺跡に興味を持つきっかけに
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館時間が16時まで ・ 天候に左右される ・ 宣伝が別で必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回で満足する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡散されているかわからない ・ 現在の活動では宣伝効果が薄い ・ 定期的な更新が必要

以下のイベントなどにより短所を補い知名度の向上を図る

イベント例

なりきり縄文生活体験

縄文時代の人々が着ていた服を再現し、着ている様子を写真を撮れるサービスを実施。服に文様を入れる

竪穴四季折々

季節ごとに竪穴式住居を飾り付け (インスタ映えスポット)



七夕



クリスマス

花見



2019年プロジェクトデザインⅡ
 テーマ：「御経塚遺跡土器文様デザイン」を活用した野々市市のPRについて
 クラス・チーム：EM403-5
 メンバー：高 勁一郎
 富田 凌平
 濱松 雄太
 宮崎 新
 堀 大輝